



「立山砂防世界遺産登録推進ユースプログラム」は、専門家を招いての世界遺産講座や世界遺産“候補”である立山カルデラの歴史的砂防施設群などの見学を通じて、若い世代に富山県の世界遺産“候補”について知っていただくプログラムです。

平成25年度から大学生等を対象に実施しており、昨年度から親子向けコースが新設されました。今回は、小学5年生から中学生までの児童・生徒とその保護者を対象に実施されました。土石流模型実験や土石流体感3Dシアター、トロッコでの砂防堰堤見学を体験し、土砂災害の恐ろしさや富山平野を守る立山砂防の事業について理解を深めていただきました。

開催日：令和6年7月26日（金）

10：00～16：00

場所：立山砂防事務所

立山カルデラ砂防博物館など

参加者：16名（親子8組）

主催：富山県 地方創生局



VRやパネル説明も！！

トロッコ  
体験乗車

ガッタン  
ゴットン！



“SABO”は世界共通語！



立山砂防の最前線へ  
出発！！

土石流体感

3D

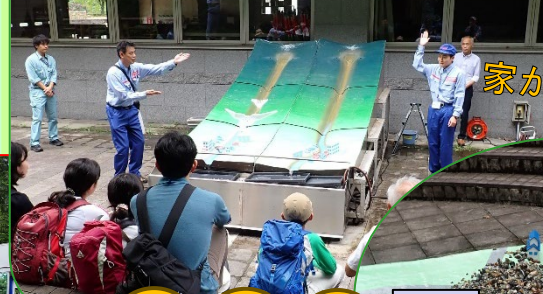
シアター

早めの避難が  
大事だね！！

ワクワク！！



土石流がきたらどうなるかな？



家が流されちゃった！

土石流  
模型実験



行ってきま～す！